

# 議会史発刊のことば



幕別町議会議長

古川 稔

平成十八年二月六日、忠類村は幕別町と十勝管内で唯一の合併を成就し、五十六年余の歴史に幕を閉じ、同時に忠類村議会もその役割を終えました。

これを機会に旧忠類村議会活動の足跡を記録に残そうと議員各位の意見の一致をみて、平成十八年三月の定例会で四名の構成による「幕別町議会史編さん特別委員会」が設置され、さっそく編さんにかかわる企画が進められました。この委員会では、単なる歴史的な事項だけでなく、忠類村の地域特性を踏まえ、個性豊かな議会史となるよう編集内容を決めたほか、平成十二年以降合併までの村政の動きを補足するとともに、写真や情報の収集では村民に呼びかけるなどご尽力をいただきました。

また、今年四月の議員改選をはさみ、約一年と六ヶ月という短期間で発刊することができましたことは杉坂委員長を中心に特別委員・事務局職員の熱意と努力の賜物と敬意を表すところです。

忠類村議会の歴史を振り返りますと、昭和二十四年八月二十日、大樹村から分村、同年九月十七日に初議会が開かれました。以来、議会の構成では第十五期を重ね、この間六十二人の議員が在職され、それぞれの時代の村政に尽力されてきました。ここに改めて村の礎を築いた多くの諸先輩のご功績に対し心から敬意と感謝を表する次第です。

少子高齢化が急速に進む今、地方自治を取り巻く環境は益々厳しくなっております。このような中、私ども議会に課せられた責務は極めて重く、全議員が一丸となって幕別町のまちづくりに取り組まなければならないと考えております。

終わりにこの忠類村議会史の発刊にあたり貴重な資料を提供いただいた皆様、編さんにご協力願った先輩議員のご労苦に対し深甚なる敬意を表して発刊のことばといたします。

平成十九年十月